■大垣西高等学校

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動内容 | T１：教師 | T２：医師（専門医） |
| 13：20〜 | ・今日は特別に大垣市民病院の〇〇先生にお忙しい中、みんなのために時間を作って来ていただいています。「お願いします。」の意味も込めて拍手をしましょう。今日の授業では専門的な立場から説明してもらいます。また、後で登場していただきますのでよろしくお願いいたします。・はじめに、何人かの芸能人の写真を出します。「誰だかわかりますか？」「どんなことを知っていますか？」そんなことを周りと話しながら見てください。・この芸能人たちに共通することはなんだろう？・〇〇になった芸能人、〇〇にどんな言葉が入るだろうか？・「がん」を患ったことがある芸能人です。どんながんを患ったか知っていますか？この中で意外な人とかいますか？〇〇〇〇〇さんは僕知らなくて意外だったのですが、知っていました？・今は克服されてテレビにも出ておられますが、この中には「がん」を克服されて今も活躍されてみえるかた、今現在「がん」と闘ってみえるかた、残念ながらこの世をさってしまった方。最近「がん」を公表する芸能人も多く、芸能界にも非常にたくさんの「がん」になった方がいます。・今日は「がん」について学んでいきたいと思います。身近に「がん」の方がみえたり、今日の授業を聞く中で辛くなったり悲しい気持ちになったら我慢せずに申し出てください。 |  |
|  | ・「がん」について今日は学んでいきますが、まず、「がん」と聞くとどんなイメージをしますか？少し周りと話してみよう。・ではワークシートを配布しますので、書いてみよう。・どんなこと書きました？ペアで話してみよう。・全体で共有したいと思います。〇〇さんどうですか？・後ろの□□さんはどうですか？・（怖い、死）と書いてある人を当てる。・世論調査でも「怖い」というイメージがとても多い。・怖いというイメージある人？・怖いという中で「死」を連想する人が多い。ということもわかっています。・「がん」って死んでしまうの？助からないの？防ぐにはどうしたら良いの？・みんなが「がん」についてイメージとしていることを正しい理解にしていきたい。目標：「がん」について理解を深める。1. 「がん」はどうやってできるのか？原因はなんだろうか？を勉強し、
2. 「がん」を予防するためにはどうしたらいいのか学んでいきたい。
 |  |
| 13：25〜 | ・まず、「がん」にはどれくらいの人がなると思いますか。隣の人と相談してください。・前を見てください。３２人います、クラスだと思ってください。どうですか？何人に一人がなるだろうか？ちなみに前やったエイズは４,６００人に一人と言われています。・誰かを当てて聞く。・それよりも多いか少ないかみんなに聞く。・実は２人に１人の割合で「がん」になると言われています。・ちなみに花粉症の人はどのくらいいますか。世間的に多いと言われている花粉症より多いと言われています。・また、「がん」の死亡数はみんなが知っての通り、１位で増え続けています。現在ではなんと３人に一人が亡くなると言われている。・今日の授業のポイントですが、「がん」になる確率が高く、他人事ではない。自分の問題として今日は聞いて欲しいです。 |  |
| 13：27～ | ・それでは専門的に「がん」について勉強していきたいと思います。・医師の先生にバトンタッチしたいと思います。お願いします。・年齢とともに高くなっていくということは、まだ、「高校生」にはあまり関係ないことかな。どうですか先生。 | ・「がん」ができる仕組みについて・細胞分裂の話や免疫（なんでも屋）の話。・長寿大国日本では「がん」と向き合って行くことが求められている。・年齢的には５０歳前後から大幅に増えていく。みんなの親世代から増えていくんだ。・いや、今だからこそ今しかできないことがあるんだ。「高校生」が、どう「がん」と向き合っていくか考えて欲しいと思う。 |
| 13：32〜 | ・「がん」がどのようにできるか理解したと思います。では、どんな人が「がん」になるだろうか？・ワークシートに記入しよう。・ペアで交流してください。・何名か当てる。（ホワイトボードに記入） |  |
| 13：34～ | ・先生、解説お願いします。 | ・男性、女性に分けて原因の解説をする。（なんでも屋が元気をなくす）・大きく分けて３つ（細菌・ウイルス、生活習慣、遺伝的原因）であることを理解させる。また、各々について補足説明をする。細菌・ウイルスや遺伝については例を挙げて説明していく。 |
| 13：36〜 | ・今、すぐに私たちにできることはなんだろう？・そうだね。これを心がけることでなんでも屋が元気に活動しやすくなるね。・このようになんでも屋を元気にさせ病気を未然に防ごうとすることを一次予防といいます。・生活習慣の中で５つの健康習慣を意識することが「がん」のリスクを下げると言われています。・禁煙する、食生活を見直す、適正体重を維持する、身体を動かす、節酒・これらを５つ実践するとこのようにリスクが低下します。・今日は５つの健康習慣について調べて「がん」予防につなげていきたいと思います。 |  |
|  | ・まず、グループに分かれてください。・その中で、リーダーの人、前にセットを取りにきてください。・一人一台タブレットを取ること。・次にその中にあるカードを引いてください。・今からその健康習慣と「がん」とのつながりについて責任を持って調べてください。８分で。・８分後、グループ内でみんなに伝えてもらいます。・ポイントとしては、自分の健康習慣と「がん」との関係性について調べる。→どのような「がん」になるのか、なぜその行為がダメなのかなどの知識を盛り込むこと。（なるほどというようなことを調べて）→「がん」のリスクを下げるために自分たちにできること（みんなが実生活で取り組みやすいことを具体的に調べよう、よしやってみようと思えるように） |  |
| 13：40〜 | ・それではスタート（８分）　✯個別で調査活動・一人１分で発表（５分）　✯グループ内で発表 | ・グループ間を回ってアドバイスする。 |
| 13：53～ | ・良い発表を紹介する。 | ・医師から各健康習慣や生徒の意見について補足。・正しい情報かどうかを判断することも大切であることに触れる。 |
| 13：58〜 | ・自分が一番危険そうなのはどれですか？・これらを意識して「がん」になるリスクを減らしていきましょう。・調べて学んだから、みなさんは「がん」は大丈夫そうですね？防げますよね？・先生バッチリです。・え、じゃあ、あとは何もできないのですか？ | ・いや、先生ちょっと待ってください。・（最初の芸能人の写真を見せて）全ての人が生活習慣が悪かったというわけではないのです。「がん」のリスクを下げることはできますが、実は、「がん」には原因のわかっていないものもあるのです。 |
|  |  | ・「がん」のリスクを下げることと同時に二次予防と言われる、「がん」の早期発見・早期治療が大切になってくる。 |
| 14：00〜 | ・「がん」が見つかるきっかけにはどのようなものがありそうですか？周りと話してみましょう。・検診や自覚症状などが見つかるきっかけとしてある。 | ・自覚症状にはどんなものがあるか、参考になる例を、少し話していただく。 |
|  |  | ・がんの進行と自覚症状が出るまでを説明・がんの進行度と生存率の関係性・検診で早期発見すると約９５％の人が治ると言われている。・はじめ死のイメージが強くあったと思うが、早くに見つけると今はほとんどが治る病気になってきている。・検診の大切さがわかるね。・ただ、検診の実際の受診率は５０％にも達していない。・その理由を説明する。・早期にがん検診を受けることの大切さを語る。 |
|  | ・今までは検診っていうと学校に車が来たり、お医者さんが来たりしてくれていたけど、大人になるとそんなことはあまりない。自分で検診などを受けにいかなくてはならない。・高校生であるみんなはそうしたことを意識しなくてはいけない年代である。子宮頸がん検診は２０歳からとなっている。・先生どこで検診とかはどうやって受けたら良いですか？ | ・市の広報など |
| 14：05〜 | ・盛りだくさんに説明しましたけど、はじめの「がん」のイメージ覚えていますか？どうですか？何かイメージは変わりました？怖いや死ぬというイメージから、適切に対処すれば治る病気であることなど理解できましたか？・おさらい（隣の人と確認作業）・仕組みや原因について確認。・予防するためにしていきたいことは？・次回は、実際に「がん」を経験した方の講演を聞いて「がん」との向き合い方を考えていきます。 |  |
|  | ・最後に先生からお言葉をいただきたいと思います。・今日は先生にお忙しい中みんなのために来ていただき色々教えていただきました。最後に感謝を込めて挨拶をしたいと思います。・明日の朝にワークシートを回収しますので、家で質問を書いて来てください。【事前準備】✯今回出てきた質問を回収し、事前に次回の講演の前に講師に渡す。 | ・総まとめと、次回の予告について話す。・疑問に思ったこと、不安に思うこと等何でもよいので書いてきてほしいと伝える。 |